

Eco-life Friends エコライフ ふれんず

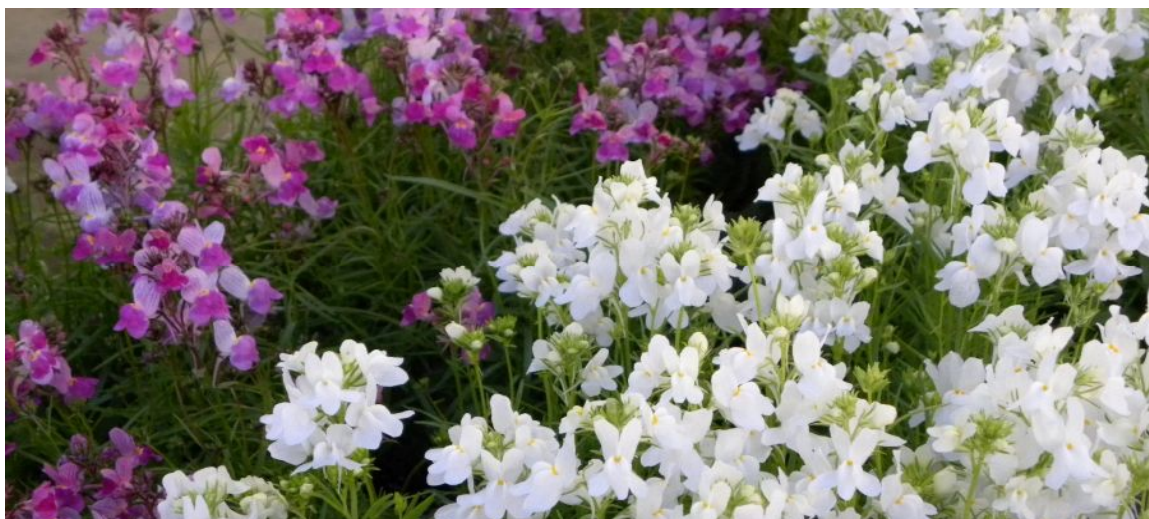
つくばエコライフフレンズ広報誌

発行者 宮澤伸一

20号 2010.02.01 発行

リナリア

- つくば環境フェスティバル 2009 P1
- わが家の CO2 削減作戦 (20) 鍋蓋の効用 P4
- 目から鱗 (20) エネルギモニター付きエアコン P5
- 催しもののお知らせ P6



つくば環境フェスティバル2009

「つくば環境フェスティバル 2009」が、2009 年 12 月 19 日(土)、20(日) 冬晴れのもと和やかに開催されました。カピオ北側広場にて、中、高、大学生を含む 11 の市民団体、5 つの企業等、つくば市でも 5 つの課が関わり 36 ものブースでそれぞれ、さまざまな「地球のためにできること」が発信されました。テントの数は飲食テントを含め、80 張りをこえました。カピオ内では科学フェスティバルも同時開催され、科学と環境を融合させるつくばならではの企画でした。つくばエコライフフレンズのテントでは、5 つのテーマを紹介しました。

(1) 発電の仕組みを知ろう (電気を使って効率よく低炭素化) ～ 塩水電池, ダイナモ式発電機による発電で発電の仕組みや送電にもロスがあることを知っても

らい電気の地産地消や省エネルギーに関心をもってもらいました。参加者の方々は、電気を運ぶ難しさを実感され、家庭に電気がとどくまでにも工夫があることを知っていただきました。



(2) 廃食油そのままキャンドル（廃食油を使ったオイルキャンドルの実演と芯立て・替え芯の販売）～ クリスマスにと、もとめられる方が多かったです。また災害時のランプとしても備えたいという声もありました。



(3) 着物リメイク ～ なるべく着物の生地をいかして、簡単に着られるようにリメイクしました。見てくださる方は、自分の物をリメイクしたいというかたもいらして、一緒に作ることも大歓迎です。タンスの肥やしはもったいない、ましてや捨てるなんて、甦らせましょう！



（４）測ってわかる大気汚染（簡易カプセルによるNO₂測定の紹介とつくば市内の測定結果の展示）～ 1996年と2009年を比べると国道354の交差点の悪化は歴然です。ご自分の家の近くで測ってみたい、学校ではかってみる。という方がいらっしゃいました。良いか悪いかは測定してみないとわかりません。また、参加者の方から、測定結果がいかされ、渋滞が緩和される道路の拡幅やルートなどまちづくりにも取り入れられると良いのではないかというご意見をいただきました。電気自動車になったとしても、タイヤの摩耗による粉塵が気になるという意見もありました。どんなエネルギーになろうともエコドライブやノーマイカーを忘れてはなりませんね。



（５）ダンボールコンポストで生ごみ堆肥化～ 実施中のダンボールコンポストとできあがった堆肥を実際に見て、生ごみが段ボールの中で消えていく不思議（1ヵ月たっても基材の量は増えない）を実感されました。室内で臭いもなくできる、寒い冬には嬉しい。以前、テレビで見たのを実際見られると楽しみに来てくださった方もありました。9人が基材（ピートモス、もみ殻くん炭）を購入し、ダンボールコンポスト仲間になりました。

